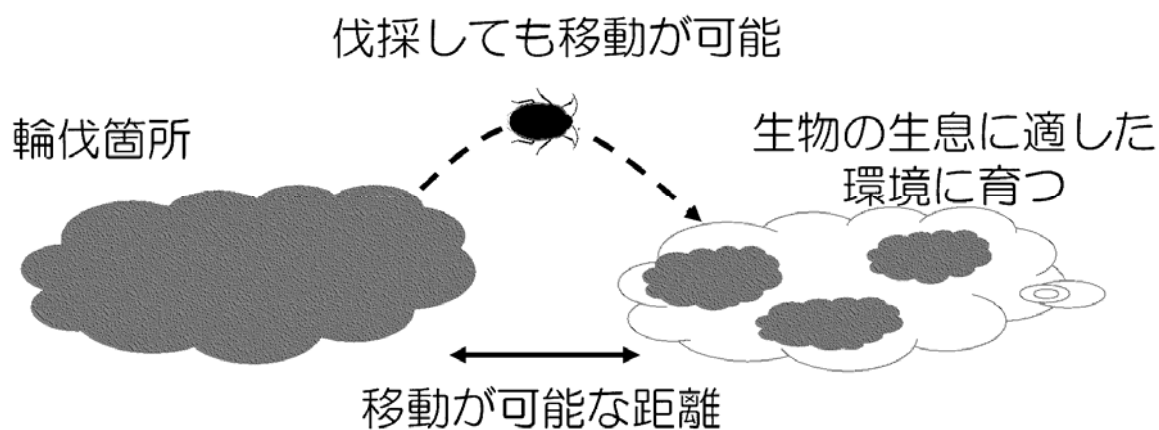


1.河道内樹木について

輪伐方法について

○伐採による生物への影響に配慮した輪伐

- ・隣接する樹木群が生物の生息に適した環境に育つまで伐採しない
- ・行動範囲が狭い生物に配慮して輪伐箇所を設定する



9

1.河道内樹木について

地域の方々と協働で実施する樹木管理事例の紹介

- ・伐採した樹木を地域の方々に無償で提供
- ・地域で活動されている団体等と協働で伐採している事例もある



芦田川の事例



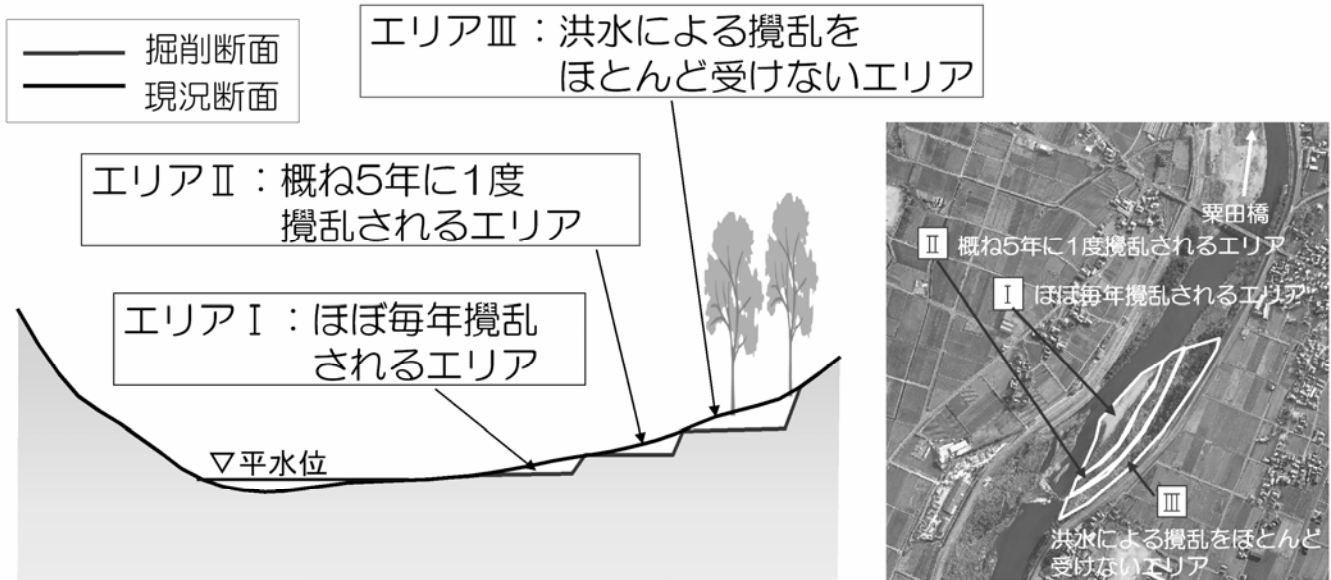
千曲川の事例

10

1.河道内樹木について

河川営力を活用した河道管理

○河川の営力を活用し、メンテナンス負荷の小さい河道管理を目指す



試験地のイメージ

1.河道内樹木について

河道内樹木のモニタリング

○調査や巡視による樹木群状態の把握

- ①河川水辺の国勢調査を実施
 - ・植生調査、生物調査 等
- ②日常の河川巡視による目視点検を実施
 - ・対岸見通し状況、予想以上の樹木の生長等を確認

○順応的な管理を実施

- ・樹木状況を把握して順応的に管理する

2.干潟について

干潟の重要性について

- ・加古川河口干潟には、希少な動植物を含めた多様な種類の動植物が生育・生息しているほか、瀬戸内海で東に位置し、日本の重要湿地500にも選定されている



瀬戸内海の重要干潟

2.干潟について

第5回流域委員会資料

河口干潟

- ・潮が引いた時に陸地になる箇所
- ・ヨシが繁茂している箇所（地下茎もふくめて）



干潟環境模式図

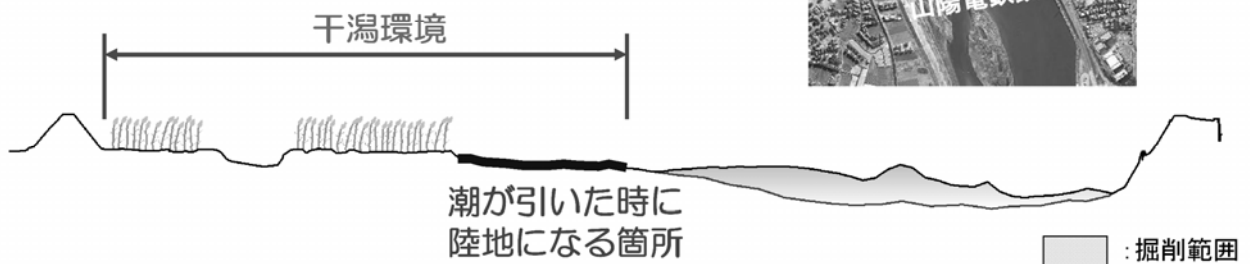
2.干潟について

具体的な対策の考え方

- ・ 河口干潟を改変しない
- ・ モニタリングをしながら
順応的に工事を実施



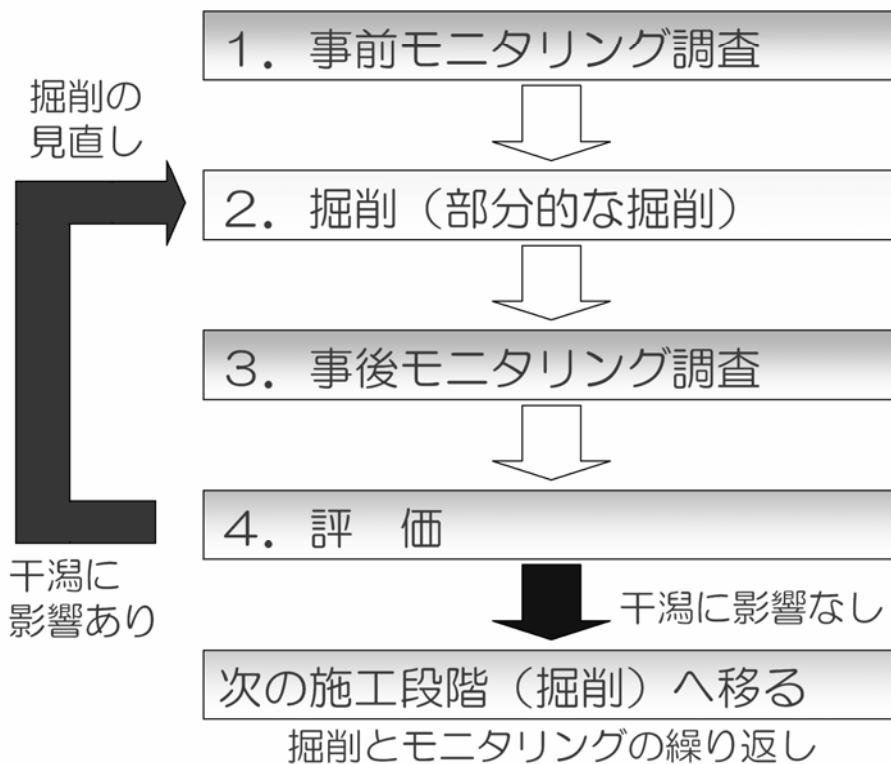
横断図1



加古川 掘削横断イメージ図

2.干潟について

順応的な管理について



順応的管理のフロー